

2021年3月期第3四半期 決算補足資料

2021年2月9日



(東証二部 9857)

連結決算概要	．．．	P. 3
品目別売上高	．．．	P. 4
業界別売上高	．．．	P. 5
バランスシート（連結）	．．．	P. 6
連結業績推移	．．．	P. 7

(単位:百万円)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減額		前年 同四半期比		2021年3月期 業績見通し
売上高	25,781	25,187	△	593	△	2.3%	37,000
営業利益	987	787	△	199	△	20.2%	1,350
経常利益	1,032	816	△	215	△	20.9%	1,400
親会社株主に帰属する 四半期純利益	671	510	△	161	△	24.0%	880

決算の概況

- 社会インフラ市場における災害対策や更新需要に基づく投資需要を取り込んだ他、石油化学業界やプラント・エンジニアリング業界向けの販売が堅調に推移しましたが、景気後退による企業収益の悪化など設備投資に対する慎重な姿勢を受け、鉄鋼業界、自動車関連業界、建設機械業界、船用関連業界向けを中心に販売が減少しました。

(注) 本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2021年3月期業績見通しについては、2021年2月1日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて上方修正した見通しを記載しております。

品目別売上高

(単位:百万円)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	前年 同四半期比		構成比
工業用計測 制御機器	12,289	11,663	△	5.1%	46.3%
環境計測・ 分析機器	2,353	2,221	△	5.6%	8.8%
測定・検査機器	1,572	1,237	△	21.3%	4.9%
産業機械	9,567	10,065	+	5.2%	40.0%
合計	25,781	25,187	△	2.3%	100.0%

増減要因

◆ 工業用計測制御機器

社会インフラや民間企業において老朽化した設備の更新、生産性向上を目的とした投資需要を取り込み、官公庁、石油化学業界、プラント・エンジニアリング業界向けで、各種プロセス計測制御機器や情報通信機器の販売は増加しましたが、電気機器業界、船用関連業界向けを中心に各種センサーの販売が減少しました。

◆ 環境計測・分析機器

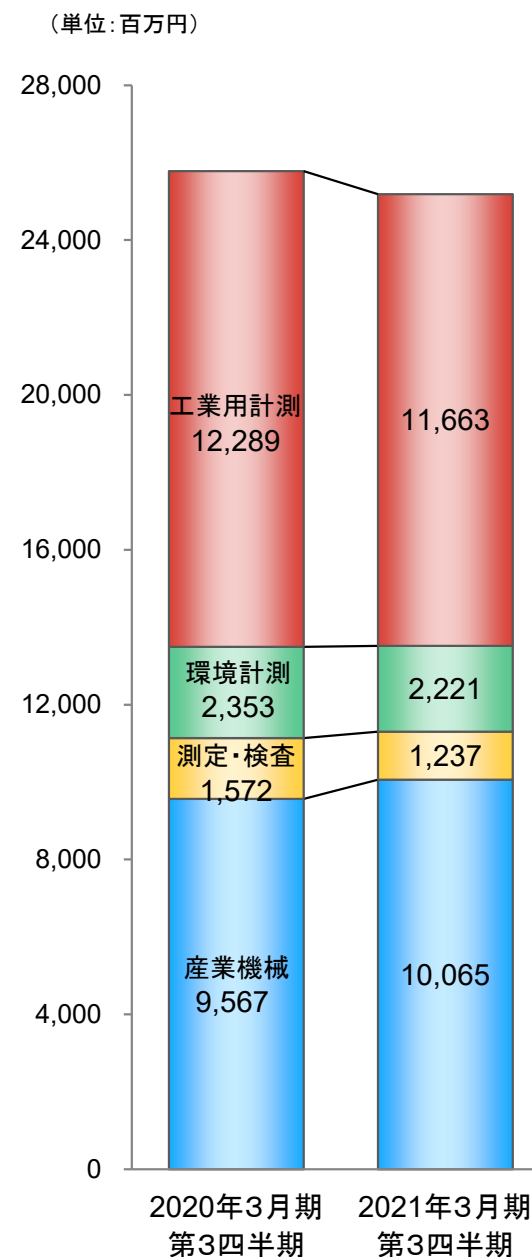
定期修理に伴う水質・大気・ガス分析計等の設備更新需要を取り込み、石油化学業界向けで販売が堅調に推移しましたが、景気悪化に伴う設備投資の抑制により、鉄鋼業界、電力業界向けで振動計、大気分析計の販売が減少しました。

◆ 測定・検査機器

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、自動車部品関連業界、鉄鋼業界において新たな設備投資に対して慎重な姿勢が見られ、精密測定機器、非破壊検査機器の販売が減少しました。

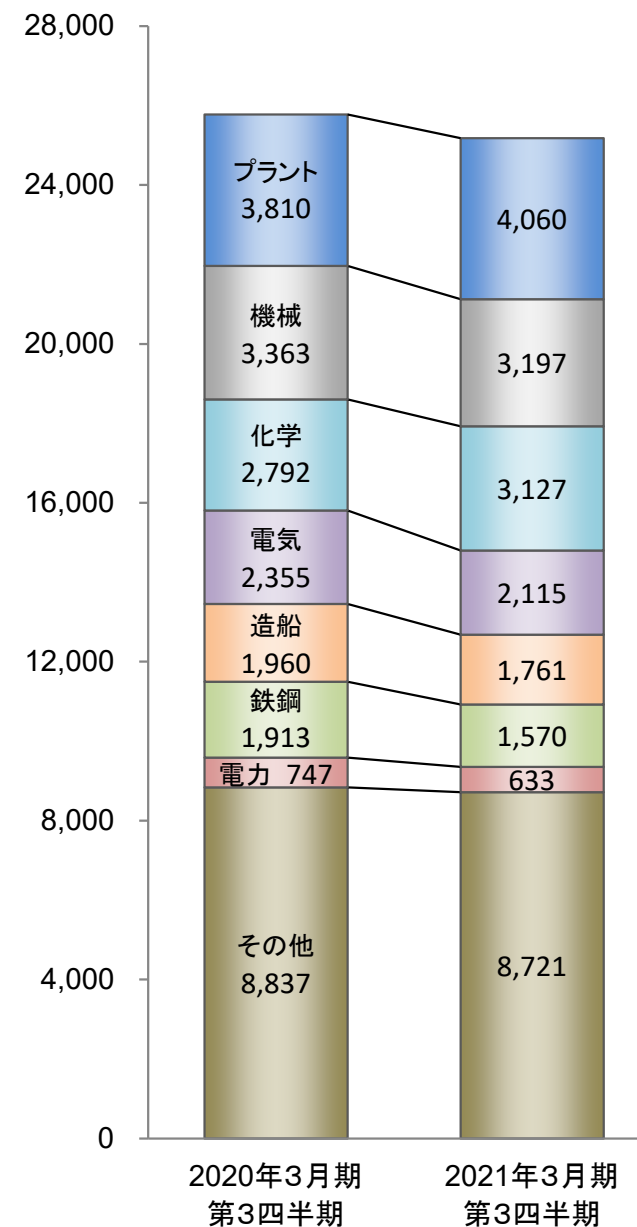
◆ 産業機械

鉄鋼業界、自動車業界向けで油圧ユニットやバルブの販売が減少しました。官公庁、運輸業向けで自然災害に対する防災・復旧に使用する各種産業車両の販売が増加した他、石油化学業界向けで定期修理や老朽化した設備の更新需要を取り込み堅調に推移しました。

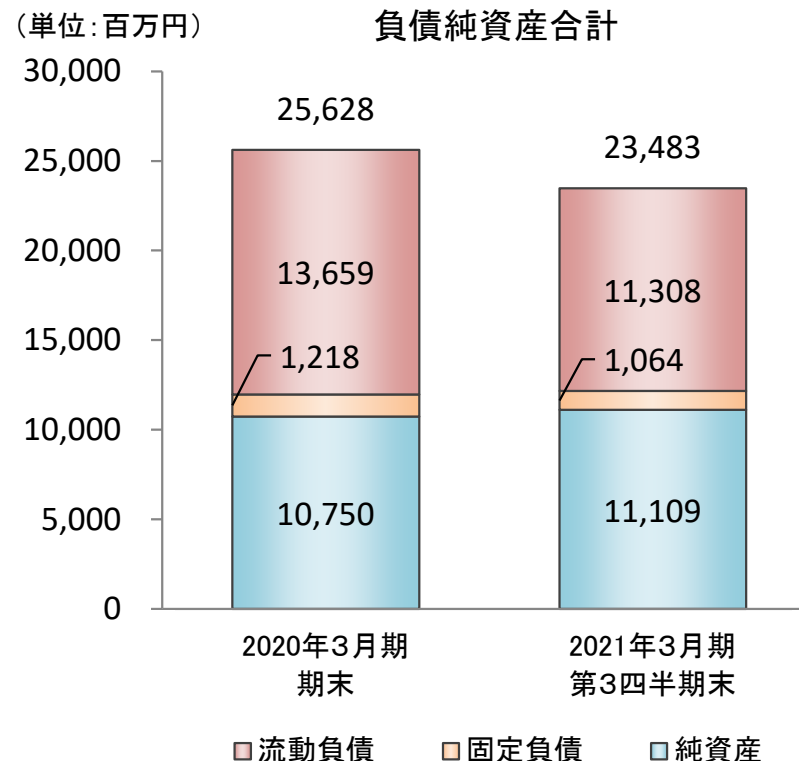
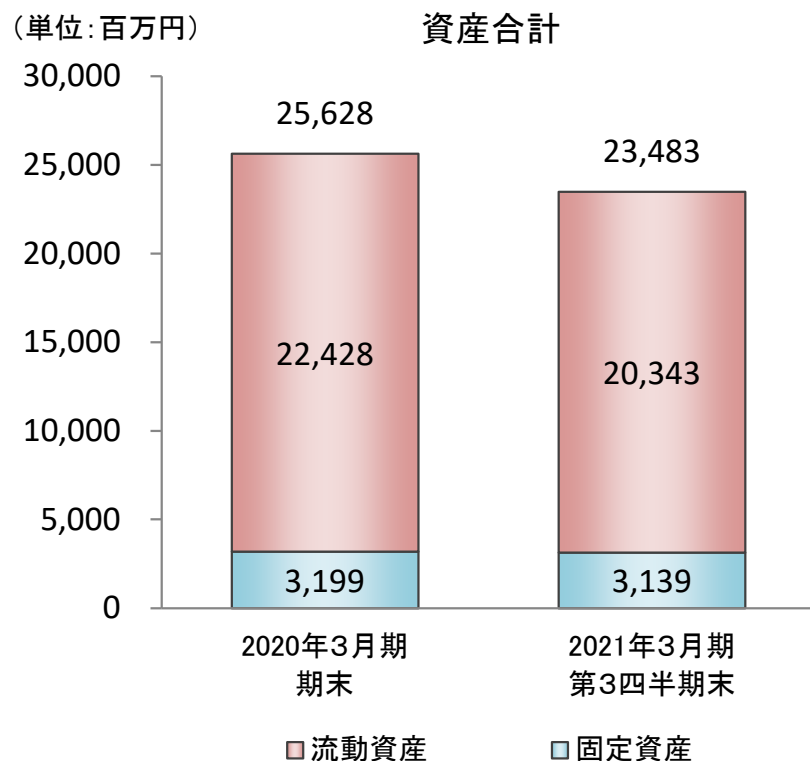


(単位:百万円)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	前年 同四半期比	構成比
プラント	3,810	4,060	+ 6.6%	16.1%
機械	3,363	3,197	△ 4.9%	12.7%
化学	2,792	3,127	+ 12.0%	12.4%
電気	2,355	2,115	△ 10.2%	8.4%
造船	1,960	1,761	△ 10.1%	7.0%
鉄鋼・ 非鉄金属	1,913	1,570	△ 18.0%	6.3%
電力	747	633	△ 15.2%	2.5%
その他	8,837	8,721	△ 1.3%	34.6%
合計	25,781	25,187	△ 2.3%	100.0%

(単位:百万円)



バランスシート(連結)



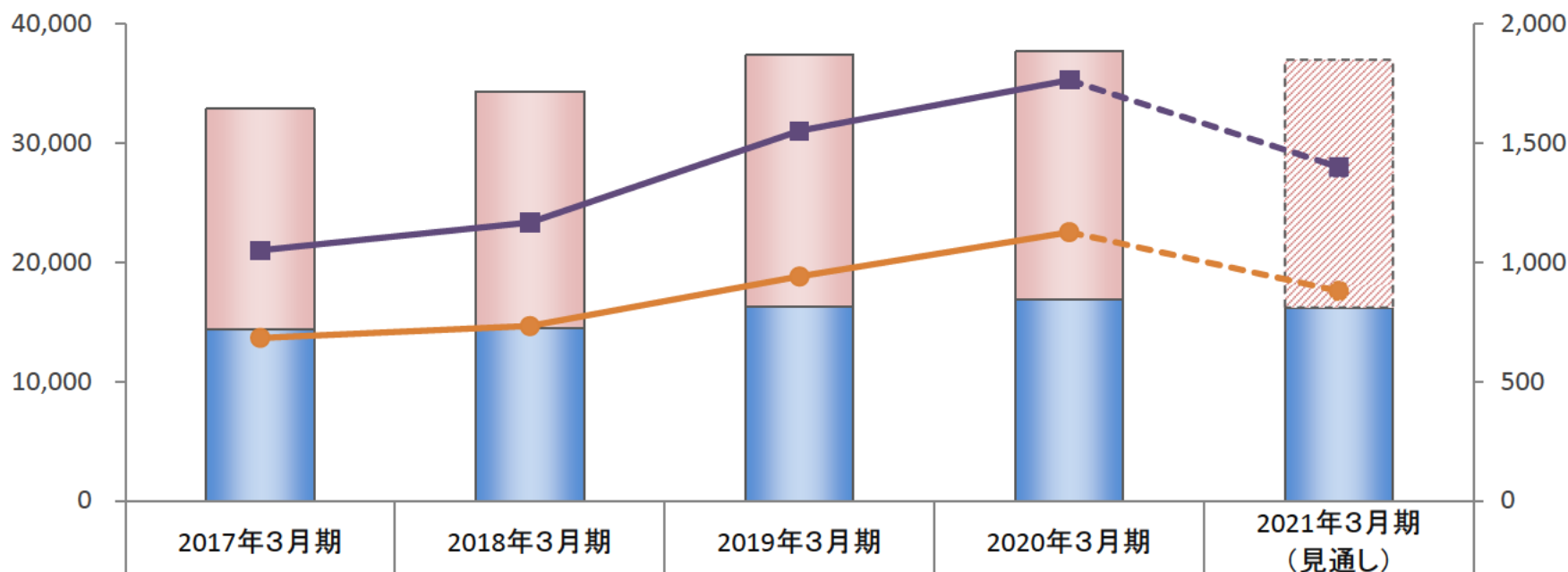
2021年3月期第3四半期 ハイライト(カッコ内は前期比)
(単位:百万円)

資産	【増減の主な要因】
◆受取手形及び売掛金: 11,587(△3,236)	売上債権の回収が進んだことにより減少しました
◆たな卸資産: 1,482(+601)	受注残の増加により増加しました

自己資本比率 : 47.3% (2020/03時点 41.9%)

負債・純資産	【増減の主な要因】
◆支払手形及び買掛金: 5,207(△1,542)	仕入債務の決済が進んだことにより減少しました
◆未払法人税等: 14(△401)	納税に伴い減少しました
◆賞与引当金: 212(△264)	賞与の支給により減少しました

(単位:百万円)



3~4Q売上高(左軸)	18,490	19,888	21,143	20,758	20,767
1~2Q売上高(左軸)	14,396	14,479	16,251	16,924	16,232
売上高	32,886	34,367	37,394	37,682	37,000
経常利益(右軸)	1,051	1,167	1,552	1,765	1,400
親会社株主に帰属する 当期純利益(右軸)	683	733	941	1,127	880

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2023年3月期 目標
ROE (自己資本利益率)	8.2%	8.1%	9.8%	10.9%	10.0%



本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL : 06-6539-4816

E-Mail : ir-info@eiwa-net.co.jp

URL : <https://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けるため、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。